

日本タイ学会 2021年研究大会プログラム (2021.07.05)

【日程】2020年7月10日(土)
 【場所】オンライン (Zoom利用)
 【参加費】無料

7月10日(土)

	会場1		会場2	
9:10-9:20	開会の辞(会長)			
9:20-9:55	個人1-1 今村 都 司会:	タイの近代化とタイ語使用 におけるngan(仕事)の意味	個人2-1 大江宏子 山岡泰幸 会:	Study of value Perceptions and Purchase Attitudes towards Sweets Products in Thailand
10:00-10:35	個人1-2 玉田芳史 司会:	COVID-19(新型コロナウイルス 感染症)ワクチンの政 治	個人2-2 Sitsada Sartamorn 大江宏子 司会:	The potential and prospects for digital marketing in Thailand: focusing on the impact of cultural factors
10:40-11:15	個人1-3 高橋勝幸 司会:	第二次大戦直後タイが民主 化に失敗した原因	個人2-3 江川暁夫 司会:	第13次国家経済社会開発計画～ 過去との違いと政策方針案への 評価～
11:20-11:55	個人1-4 浅見靖仁 司会:	「プミポン・コンセンサ ス」再考:その成立過程と 負の遺産	個人2-4 ピヤダー・シヨンラ オーン ジェッサ ダコーン・ガラポン ピヤ・ポンサピタッ クサンティ 司 会:	外国人労働者の実態調査-タイ 人技能実習生を事例として-
12:00-12:35	個人1-5 三好友良 司会:	模索するタイ経済と南進す る中国:タイランド4.0の 動向を中心に		
12:35-13:30	昼休み			
13:30-13:45	会員総会			
14:00-16:15	共通論題「2020年政治対立から考えるタイ社会の変化」			
	司会	遠藤環 青木まき	趣旨説明	
	報告1	櫻田智恵	プーミポンという 幻影か らの脱却	
	報告2	清恵子	2020年民主化運動における アートの役割	
	報告3	外山文子	タイ政治の“悪循環”は終 わるのか?	
	報告4	船津鶴代	地方自治体選挙と「理念の 政治」の影響	
	討論者	大泉啓一郎 日下 渉		
16:15-16:30	閉会の辞(会長)			